

先駆的・指導的役割 ～ 『温かく迎え入れ 個性を引き出す』 ～

2025 年 6 月 11 日午前中は、東久留米駅 → 所沢駅 → 航空公園駅に向かった。【『障害のある方々に リハビリテーションの提供を行う技術者 及び 障害のある児童の保護・指導を行う職員について、先駆的・指導的役割を担い得る専門職の養成を目指して教育を実践』されている 国立障害者リハビリテーションセンター 学院 リハビリテーション体育学科（埼玉県所沢市で航空公園駅が最寄り）】での、『病理学』の 2 コマの授業に赴いた。1 コマ目は、スライドを用いて行った。2 コマ目の授業『病理学概論：カラー学べる病理学』を音読しながら進めた。学生の実情な姿勢には大いに感動した。学生との楽しい対話の充実した時であった。『人間学の学び ＝ がん教育』の時ともなった。

【『人間的な責任で 手をさしのべる（温かい人間としての関係）』&『個性を引き出す種を蒔く人になりなさい』（画像）であろう！ 『行いの美しい人（a person who does handsome）』、『ニューモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観ある人物の実例と実行である』、『冗談を実現する胆力 ～ sense of humor ～ の勧めは、教育の原点』】では なかろうか！

その後は、【順天堂大学大学院修士課程(医科学コース)『がんと遺伝子』】の講義である。今回は、『環境因子とがん』である。筆者の『授業の心得』は、【『病理学の根幹を追求』&『俯瞰的に物事を総合的に見る人物の育成』】である。まさに、『教育理念』を復習する時でもある。『病理学概論』とは、『顕微鏡を見て病気を診断する ＝ 森を診て木の皮まで診る ＝ 風貌を見て、心まで読む ＝ 丁寧な観察力の修練』であり『人生の根幹を追求する ＝ 教育』と実感する日々である！

『悲しい時には 私達の所へいらっしゃい、一緒に泣きましょう、そしてあなたが 仕合せな時には一緒に笑いましょう。さあ勇気をお出しなさい、一これから先の長い年月のことは考えず、今日という日以外には 日がないと思って ただ毎日をお過ごしなさい』（勝海舟；1823-1899 の奥さん：勝 民子；1821-1905 の言葉）は、『訪れる人を 温かく迎え入れる』原点でもあろう。

種を蒔く人になりなさい

順天堂大学医学部 教授
がん哲学外来理事長

樋野 興夫



涙とともに
種を蒔く
者は

涙とともに種を蒔く者は
喜び叫びながら刈り
取る涙とともに種を蒔
く者は喜び叫びながら
刈り取る涙とともに種
を蒔く者は喜び叫びな
がら刈り取る